

2021年度 堺支部 事業報告

1 事業活動の概要

- 1) 「社会福祉士の社会的認知を高める」という方針については、大阪社会福祉士会より、各委員及び評議員等の推薦を通じて社会的認知の向上に努めている。
- 2) 「堺市と連携し、福祉サービス利用者に対するソーシャルワークが展開できるシステムづくりを発展させる」については、堺市障害支援区分認定審査会、堺市介護認定審査会などに委員を派遣している。
- 3) 「会員のソーシャルワーカーとしての活動をサポートするネットワークをつくる」については、研修会の開催、大阪社会福祉士会ホームページの活用、堺支部ニュースの発行、堺支部運営委員会等により会員相互間のネットワークの構築を図っている。

2 活動内容

- 1) 堺支部運営委員会
 - ・原則毎月第3水曜日 午後7時45分から zoom 開催
- 2) 研修・全体会議
 - ① 「介護保険認定審査会委員研修会」

7月11日（日）14:00～15:30 ZOOM 開催 参加者 16名
 - ② 「新入会者歓迎・支部会員交流会」

10月15日（金）20:00～21:00 ZOOM 開催 参加者 14名
10月17日（日）10:00～11:00 ZOOM 開催 参加者 10名
 - ③ 「更生保護を考える 地域生活定着支援センターの巻
～罪を犯した高齢者や障害者の福祉的支援の現場から～」

講師：大阪府地域生活定着支援センター 所長 山田 真紀子氏
11月28日（日） ZOOM 開催 参加者 48名
 - ④ 「里親制度の現状と課題から里親制度の近未来を展望する」

講師：大阪府立大学教育福祉学類 教授 伊藤 嘉余子氏
3月27日（日）13:00～15:00 ZOOM 開催 参加者：36名
 - ⑤ 全体会議 3月27日（日）15:05～15:35 ZOOM 開催 参加者：18名
- 3) 堺支部ニュースの発行
 - ・毎月発行
- 4) 基礎研修に関する支部担当業務
 - ・今年度は基礎研修Ⅲの講師担当であり、4名派出している。
- 5) 堺市社会福祉協議会等による福祉関連イベントでの啓発・支援活動
 - ・新型コロナウイルス禍活動が困難であった。

3 評価とまとめ

- ・運営委委員会や各種研修会については新型コロナウイルス禍 ZOOM 開催とし、新たに参加者も増えている。会場に足を運ばなくて良いため、参加調整がしやすいとの意見があった。対面研修の良さもあるため、次年度については感染状況を鑑み研修方法は検討していく。
- ・新型コロナウイルス禍、福祉関連イベントでの市民への啓発活動は困難であった。継続し計画し参加していく。
- ・会員相互間のネットワークのさらなる構築のため、次年度はグーグルグループ等を活用し支部活動や研修会の情報の共有、または参加がしやすいように努めていく。より多くの会員と一緒に活動をしていき、会員相互のネットワークや研鑽の機会を拡大していきたい。
- ・研修については、予定していた実践報告会はできなかったが、アンケートで要望のあった里親についての研修会を実施できた。また、更生保護についての研修会は好評を得ており、シリーズ化し、継続していく予定である。今後も少しでも魅力のある研修会を会員と一緒に考え、開催していきたい。